

公益財団法人 8020 推進財団

令和4年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名： オーラルフレイルサポーター養成事業

2. 申請者名： 一般社団法人佐世保市歯科医師会 松添 裕之

3. 実施組織： 佐世保市歯科医師会、佐世保市山澄地域包括支援センター

4. 事業の概要：

近年、介護予防は口腔健康の見直しもされており、オーラルフレイルの啓発活動が広がりつつある。オーラルフレイルと介護予防にはポピュレーションアプローチが要であり、市民による啓発活動がポイントである。今回我々は、地域に存在する生活支援サポーターを主体としてオーラルフレイル予防の取り組みを地域住民で主体的に取り組むことができるように、またフレイルドミノに向き合うオーラルフレイルサポーターという存在を地域に増加させ、啓発活動を促進させることを計画し、この事業の目的とした。今回の事業により我々は、オーラルフレイルサポーターの養成と地域住民へのポピュレーションアプローチの促進、多職種における包括的ケアおよび連携強化の推進を図ることを期待できる成果としている。

5. 事業の内容：

- I. オーラルフレイルサポーターの養成
- II. オーラルフレイルサポーターによる地域での介護予防・オーラルフレイル予防の活動
- III. データの集約及び分析
- IV. 集約したデータをもとに新たな地域住民および専門職への発信

6. 実施後の評価（今後の課題）：

オーラルフレイルの視点で介護予防の研修会や講座が広まっていく中で、「研修を受講する」「講座を受講する」ことももちろん大切であるが、自分自身が体感することは最も大切なことである。これは自身の気づきにも繋がり、このオーラルフレイル予防の大切さを誰かに伝えたいという思いに繋がる。「有名な先生に聞いたから…」「テレビで見たから…」ではなく、自身の実体験はポピュレーションアプローチにおいてとても重要であることが再確認できた。これは、歯科医師を始めとする専門職にも同様のことが言え、専門職だけでは解決できなかったことも多職種連携を行うことで解決できるようになることに気づくことができる。歯科医師会の啓発だけでなく、地域に密着している地域包括支援センターと圏域の他の専門職との関わりを深めて啓発を行い、地域住民も啓発する側に加わってもらうことで、啓発効果をより発揮できると感じた。

今後、今回養成したオーラルフレイルサポーターは「よか・ともプロジェクト」と名付け、実施した大宮はなみずきサロンの参加者の中で、介護予防・オーラルフレイル予防を頑張りたい人に対して訪問を行い、声掛けや一緒に運動を行うなど展開していく。

フレイルドミノの始まりは「社会との繋がり」から始まるとされている。地域の高齢者一人ひとりが希薄化した「社会との繋がり」を維持もしくは再建し、地域での役割が生きがいになるように、佐世保市歯科医師会と佐世保市山澄地域包括支援センターは、オーラルフレイルを入口として、フレイルドミノの最初のドミノ「社会との繋がり」を起すことをこれから実践していく。